

平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	中央緊急対応基金 (CERF) 拠出金 (任意拠出金)			担当部局庁	国際協力局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成20年度開始			担当課室	緊急・人道支援課			課長 青木 豊	
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	第60回国連総会決議60/124(2005年)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中央緊急対応基金(CERF)は、国連人道支援改革の一環として設置されたものであり、突発的な大規模災害・紛争発生時に緊急人道支援に関する初動財源を確保することにより、被害の拡大を最小限にすること、及び、ドナーからの援助が行き渡らない資金不足の危機(いわゆる「忘れられた危機」)への対応を可能にすることを主な目的としている。同基金への拠出を通じて、我が国の人道支援に対する積極的な姿勢を内外に示すとともに、最も脆弱な人々を支援する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	CERFは、大規模災害・紛争発生時に国連機関を通じて緊急・人道支援を行うための初動財源を供与している。具体的には、活動を行う国際機関が、初期活動・危機的人道状況の改善を行うために必要な事業を、緊急援助調整官(CERF事務局)に対して申請し、要件に該当する場合には、右事業の活動資金が供与される。CERFへの拠出を通じ、国際社会における人道支援の初動対応の強化が図られ、緊急時に最も脆弱な人々に迅速かつ効率的・効果的に人道支援を提供することが可能となり、人道支援体制の強化及び人間の安全保障の実現に大きく貢献する。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	188	267	219	245			
	執行額		188	267	219				
	執行率 (%)		100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	人道危機への迅速な対応 (支援を受けた被災者)			成果実績	万人	2,200	3,500	-	
	(注)基金全体の目標及び成果			達成度	%	100	100	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	① 拠出先国数 ② 支援プロジェクト数			活動実績 (当初見込み)	① 国 ② 件	① 45 ② 469	① 45 ② 473	① 49 ② 549	-
	(注)基金全体の指標及び実績					()	()	()	()
単位当たりコスト	約7.8ドル/人			算出根拠	2012年のイエメン、南スーダン、マリ事業額(77.5百万ドル)÷裨益者(1,000万人)＝約7.8ドル				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	中央緊急対応基金(CERF)拠出金		245						
計		245							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	CERFは、突発的な大規模災害・紛争への緊急対応や「忘れられた危機」への支援を行っており、我が国の重視する効果的な人道支援の実施や、「人間の安全保障」の実現に貢献していることから、国として支援する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	CERFは、諮問機関の設置、監査・報告体制の確立等を通じ、効果的・効率的に業務を行っている。予算の用途は、真に必要なものに限定されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	CERFは、突発的な大規模災害・紛争への初動の緊急援助や「忘れられた危機」への支援などにより被害の拡大を最小限に防ぎ、迅速に人道支援を行うために極めて有効に活用されており、重要かつ実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	引き続き効果的な事業の実施を求めていく。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	116	平成23年	104	平成24年	127